

富山大学環境塾冊子 バックナンバーのご紹介

富山大学では、学生や教職員から一般市民まで幅広い方面の方々と環境問題を考え、交流する場として平成19年から年1回、「富山大学環境塾」を開催しています。

「塾」と名付けたのは、まず我々自身が現代の環境問題について様々な視点から行われている研究の成果を知り、また、その解釈に関する色々な意見を聞くことにより、自分自身で考える力をつけよう、という意味が込められています。これまで開催してきた環境塾の内容を、以下にご紹介します。

※所属・職名はすべて開催当時のものです。ご了承ください。

冊子には当日の内容がすべて収録されています。バックナンバーをご希望の方は環境安全推進センターまでお問い合わせください。

第1回 地球温暖化を考える



(全編収録冊子：A4版、49頁)

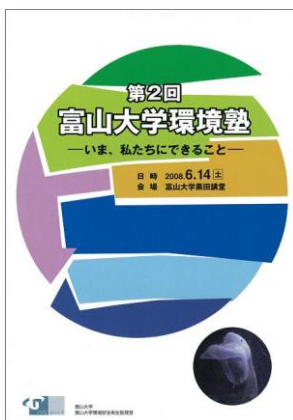
日時/平成19年11月21日(水)13:00～15:00

会場/富山大学五福キャンパス・理学部多目的ホール(2F)

プログラム

- 基調講演「地球温暖化問題リテラシー」
早坂忠裕 (総合地球環境学研究所 教授)
- パネルディスカッション「環境問題について大学でできること」
司 会：青木一真 (富山大学大学院理工学研究部 准教授)
パネリスト：早坂忠裕 (総合地球環境学研究所 教授)
近藤昌彦 (富山大学理事・副学長)
稲寺秀邦 (富山大学大学院医学薬学研究部 教授)
富山大学生2名

第2回 — いま、私たちにできること —



(全編収録冊子：A4版、42頁)

日時/平成20年6月14日(土)15:00～17:00

会場/富山大学五福キャンパス・黒田講堂ホール

プログラム

- 番組上映「NHKスペシャル 神秘の海 富山湾～海の中までアルプスがつつく～」
- 座談会「富山の豊かな自然環境を残すため、今できること、すべきこと」
司 会：吉田一貴 (NHK 富山放送局アナウンサー)
参加者：石井隆一 (富山県知事)
野々部一成 (NHK 富山放送局ディレクター)
本田恭子 (環境教育コーディネーター)
西頭徳三 (富山大学長)
張勁 (富山大学大学院理工学研究部 教授)
丸谷芳正 (富山大学芸術文化学部 教授)
富山大学生2名

第3回 地球温暖化問題を経済学的に考える



(全編収録冊子：A4版、51頁)

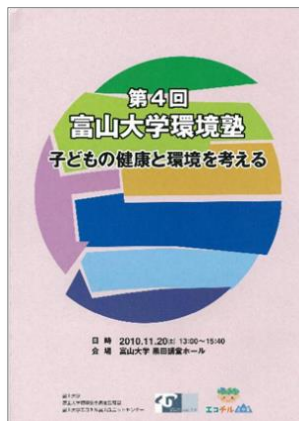
日時/平成21年11月18日(水)14:00～17:00

会場/富山大学五福キャンパス・理学部多目的ホール(2F)

プログラム

- 基調講演「地球温暖化の経済学：排出量取引というアプローチ」
有村俊秀（上智大学 環境と貿易研究センター長）
- パネルディスカッション「持続可能な社会へ：経済学の役割・環境科学の役割」
司 会：山本雅資（富山大学極東地域研究センター准教授）
パネリスト：有村俊秀（上智大学 環境と貿易研究センター長）
川村隆一（富山大学理学部教授）
和田直也（富山大学極東地域研究センター教授）
龍世祥（富山大学経済学部教授）
富山大学生2名

第4回 子どもの健康と環境を考える



(全編収録冊子：A4版、60頁)

第4回はこれまでと全く異なる観点に立ち、医療的な観点から「生活環境」について考えました。基調講演では稲寺教授より2011年から行われる「エコチル調査^{*}」についての概要が、続いて小林教授より子どもを取り巻く「人間関係」としての環境をテーマに心の健康について、実例を交えながら詳しく解説していただきました。また、産科、小児科、母子看護の教授からは、それぞれの立場からエコチル調査の意義について話がありました。

日時/平成22年11月20日(土)13:00～15:40

会場/富山大学五福キャンパス・黒田講堂ホール

プログラム

- 基調講演1「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)について」
稲寺秀邦（富山大学 エコチル富山ユニットセンター長）
- 基調講演2「幼少期の家族関係が子どもの人格形成に及ぼす影響」
小林真（富山大学 人間発達科学部 教授）
- エコチル調査の意義について
 - ・産科の立場から 齋藤滋（富山大学 医学部産科婦人科学 教授）
 - ・小児科の立場から 宮脇利男（富山大学 医学部小児科学 教授）
 - ・母子看護の立場から 永山くに子（富山大学 医学部母性看護学 教授）
- パネルディスカッション「子どもの健康と環境を考える」
司 会：三崎拓郎（富山大学エコチル富山ユニットセンター特別研究教授）
パネリスト：和田麗子（富山県母親クラブ連合会会長）
稲寺秀邦（富山大学エコチル富山ユニットセンター長）
小林真（富山大学人間発達科学部 教授）
齋藤滋（富山大学医学部産科婦人科学 教授）
宮脇利男（富山大学医学部小児科学 教授）
永山くに子（富山大学医学部母性看護学 教授）

「エコチル調査」
‘子どもの健康’と‘環境要因’
‘の関係性を調べるための’
‘子どもの健康と環境に関する全国調査’(Japan Environment and Children's Study)。「エコチル調査」はその愛称です。

第5回 再生可能エネルギーと環境について考える



(全編収録冊子：A4版、58頁)

第5回は、地球に優しいエネルギー源を確保するための方法とその課題や将来展望について、専門家の意見を伺い、参加者とともに再生可能エネルギーと環境について考えました。基調講演では、作井正昭教授、上田晃教授により各々「風力発電」、「地熱発電」についての概説が行われるとともに関連する話題が提供され、再生可能エネルギーへの理解を深めることができました。

日時/平成23年11月30日(水)13:30~16:00

会場/富山大学五福キャンパス・共通教育棟1階大講義室C-11

プログラム

- 基調講演1「風力発電について～新型発電装置の開発～」
作井正昭(富山大学大学院理工学研究部教授)
- 基調講演2「地熱発電について～富山県内の地熱利用～」
上田晃(富山大学大学院理工学研究部教授)
- パネルディスカッション「再生可能エネルギーと環境について考える」
進行：野崎浩一(富山大学大学院理工学研究部教授)
パネリスト：白江孝俊(北陸電力株式会社支配人環境部長)
作井正昭(富山大学大学院理工学研究部教授)
上田晃(富山大学大学院理工学研究部教授)
富山大学生2名

第6回 地震災害と防災・減災について考える



(全編収録冊子：A4版、71頁)

第6回は、いつおこるかわからない地震に対する「防災・減災」対策について大学という視点から震災について考えました。東日本大震災の体験やさまざまな専門分野の先生方のご意見を聞くことで、改めて震災による被害の甚大さを実感し、防災・減災対策の大切さを再認識していただけたのではないのでしょうか。今後、現状を見直し、防災対策を考えていく上で、貴重な機会となりました。

日時/平成24年12月11日(火)13:30~16:00

会場/富山大学五福キャンパス・理学部多目的ホール(2F)

プログラム

- 基調講演「大学における地震対策と安全管理」
～東日本大震災から見えてきたもの～
大井秀一(東北大学環境保全センター長)
- パネルディスカッション「地震災害と防災・減災について考える」
進行：野崎浩一(富山大学環境安全衛生監理室副室長)
パネリスト：大井秀一(東北大学環境保全センター長)
竹内章(富山大学大学院理工学研究部教授)
秦正徳(富山大学芸術文化学部教授)
小松幸雄(富山大学施設企画部長)

第7回 PM2.5 と大気環境について考える



(全編収録冊子：A4版、75頁)

第7回は、日本での関心が高まった「PM2.5」を取り上げました。PM2.5についてはニュースでもその危険性が大きく報じられ、多くの方々が健康へ及ぼす影響について、不安を感じています。環境塾ではPM2.5の基本的な知識から健康への影響そして防御方法などについて正しい知識を分かりやすく解説していただきました。

日時/平成25年10月30日(水)13:30～16:30

会場/富山大学 理学部 多目的ホール

プログラム

- 基調講演1 「PM2.5の基礎知識と発生源事情の紹介」
西川雅高（東京理科大学環境安全センター長）
- 基調講演2 「PM2.5の健康影響」
金谷久美子（京都大学大学院医学研究科研究員）
- パネルディスカッション「PM2.5からはじまる環境教育」
司 会：青木一真（富山大学大学院理工学研究部准教授）
パネリスト：金谷久美子（京都大学大学院医学研究科研究員）
藤谷亮一（富山県生活環境文化環境保全課係長）
稲寺秀邦（富山大学大学院医学薬学研究部教授）

第8回 国土強靱化について考える



(全編収録冊子：A4版、82頁)

第8回は、近年多発し、また近い将来も起こる可能性があると言われる大規模自然災害に対し、致命的な被害を負わない強さと速やかに回復するために構築が進められている社会経済システムについて考えました。環境塾では、平成27年6月に閣議決定された「国土強靱化基本計画」学び、富山での「防災・減災」についての取り組みについて、行政・経済・エネルギー・土木・住宅・交通整備・通信体制・人材育成など、様々な観点の現状と課題を、専門家の方々から学び、考える機会となりました。

日時/平成26年12月16日(火)13:00～17:40

会場/富山大学五福キャンパス・黒田講堂ホール

プログラム

- 基調講演1 「国土交通省の防災・減災対応と富山県内での取り組み」
松井健一（富山河川国道事務所長）
 - 基調講演2 「地方からはじめる「国土強靱化」」
藤井聡（京都大学大学院工学研究科教授）
 - 基調講演3 「政府が進める国土強靱化と地方戦略」
金谷年展（東京工業大学ソリューション研究機構特任教授）
 - パネルディスカッション「富山における国土強靱化計画と課題」
コーディネーター：丸茂克美（富山大学大学院理工学研究部教授）
パネリスト：
吉岡浩二（富山県土木部建設技術企画課主幹・課長補佐・企画整備係長）
柏木健司（富山大学大学院理工学研究部准教授）
唐渡広志（富山大学経済学部教授）
村田良昭（株式会社パワー・アンド・IT 代表取締役社長）
- コメンテーター：
中尾哲雄（株式会社インテック最高顧問）
神田昌幸（富山市副市長）
松井健一（富山河川国道事務所長）
金谷年展（東京工業大学ソリューション研究機構特任教授）

第9回 気候変動による生態系の影響について考える



(全編収録冊子：A4版、61頁)

近年、地球温暖化などの気候変動が顕著となり、生物多様性の危機や食糧生産への影響が懸念されています。

そこで、第9回は、日本の気候変動の状況とそれによって引き起こされている生態系の変化とその対応策について学ぶとともに、北陸地域で顕在化しつつある生態系への影響や課題について考えました。

日時/平成27年12月9日(水)13:30~16:40

会場/富山大学五福キャンパス・黒田講堂ホール

プログラム

- 基調講演1「日本における気候変動の影響への適応計画について」
久保直人（環境省 地球環境局 総務課研究調査室 環境専門調査員）
- 基調講演2「気候変動が山岳生態系に及ぼす影響」
和田直也（富山大学研究推進機構極東地域研究センター教授）
- パネルディスカッション「気候変動による生態系の影響について考える」
司 会：横畑泰志（富山大学大学院理工学研究部(理学)教授）
パネリスト：
久保直人（環境省 地球環境局 総務課研究調査室 環境専門調査員）
初鹿宏壮（富山県環境科学センター主任研究員）
根来尚（富山市科学博物館専門官）
和田直也（富山大学研究推進機構極東地域研究センター教授）
山崎裕治（富山大学大学院理工学研究部(理学)准教授）

第10回 これからの循環型社会のあり方について考える



(全編収録冊子：A4版、63頁)

2016年5月に富山で開催された主要7カ国およびEUの環境大臣会合において、食品や化石燃料を含むあらゆる資源の循環的な利用や使用量の削減を目指す「富山物質フレームワーク」が採択されました。これを踏まえ、富山県でも食品ロス・食品廃棄物の削減や効率的な利用を推進することになりました。

そこで、第10回は、廃棄物の発生抑制と効率的な再資源化を実現する循環型社会について考えました。

日時/平成28年12月14日(水)13:00~16:00

会場/富山大学五福キャンパス・学生会館ホール

プログラム

- 基調講演1「資源・エネルギー・人から考える廃棄物」
丁子哲治（独立行政法人 国立高等専門学校機構 鹿兒島工業高等専門学校 校長）
- 基調講演2「廃棄物の3Rの推進について」
八田哲典（富山県 生活環境文化部 環境政策課 廃棄物対策班 主査）
- パネルディスカッション「廃棄物の発生抑制と再資源化について考える」
司 会：野崎浩一（富山大学環境安全推進センター長）
パネリスト：
丁子哲治（独立行政法人 国立高等専門学校機構 鹿兒島工業高等専門学校 校長）
八田哲典（富山県 生活環境文化部 環境政策課 廃棄物対策班 主査）
山本雅資（富山大学極東地域研究センター 准教授）
國見伸行（富山大学生生活協同組合 専務理事）
中村圭太（富山大学生生活協同組合 常務理事（経済学部学生））

第 11 回 エビデンスに基づく政策立案の重要性について考える



(全編収録冊子：A4 版、44 頁)

近年、先進諸国では「データ≠エビデンス」であることを強調した政策立案が進んでいます。わが国でも内閣府がエビデンスに基づく政策立案を進めており、平成 26 年 3 月に公的統計が積極的に貢献していくことが閣議決定されています。

第 11 回では、今後ますます重要性を増していくと考えられる「エビデンスに基づく政策立案」とはどのようなものか、なぜ重要であるのか等について環境政策を例として考えました。基調講演では、データに含まれるバイアスの問題、どのようにすれば政策効果が正しく測定できるかなどについて初学者向けに易しく解説しました。講演後は、ビッグデータを実際に分析するために必要な技術修得のための入門実習を大学の PC を用いて行いました。

日時/平成 29 年 11 月 15 日(水)13:00~16:15

会場/富山大学五福キャンパス・総合情報基盤センター

プログラム

- 講演 1 「エビデンスに基づく政策立案の重要性：環境政策を例に」
山本雅資（富山大学 極東地域研究センター准教授）
- 講演 2 「フリーソフト R の基本的な使い方」
伊藤 岳（人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター・研究員）
- グループ演習
-初心者を対象とした学生と一般社会人による 2-3 名のグループワーク-
講師：山本雅資（富山大学 極東地域研究センター准教授）
伊藤 岳（人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター・研究員）